

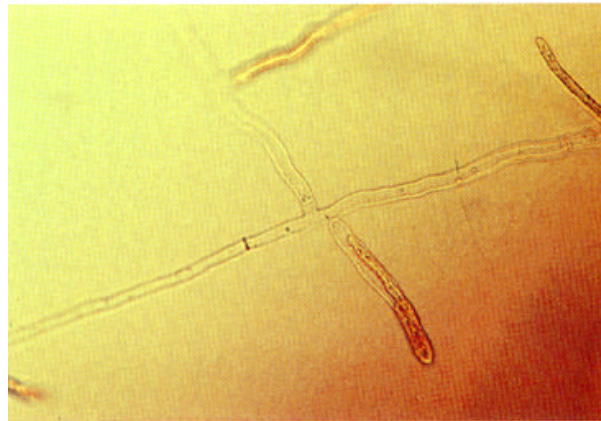
<ポーチュラカ立枯病>



左；健全，右；立枯病



立枯病による枯死株



病原菌の菌糸

<ポーチュラカ立枯病>

病原菌：Rhizoctonia solani Kuhn

1. 症 状

地際基部がくびれて褐変し、根部が腐敗消失する。そのため株全体が萎ちょうし、枯死する。土壌と接する基部にも陥没した褐色病斑を生じる。

2. 生 態

病原菌は土壌伝染性で、高温を好み、菌糸の伸長は速い。また、耐久性のある菌核を形成する。

3. 防 除

- 1) 発病株は直ちに除去する。
- 2) 健全株から採穂する。
- 3) 未登録だが、フルトラニル、トルクロホスメチル水和剤およびTPNフロアブル剤の土壌灌注は有効である。

4. 記 事

本病は1990年6月に八王子市の鉢栽培で発生した。